

岩手県感染症週報

令和3年第9週 (3月1日～3月7日)

岩手県感染症情報センター

第9週の概要

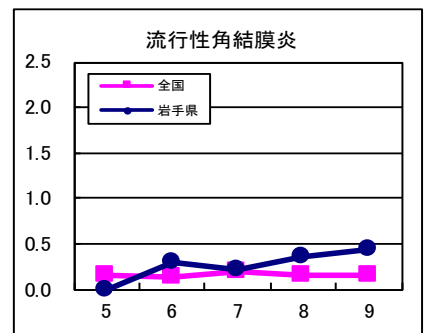
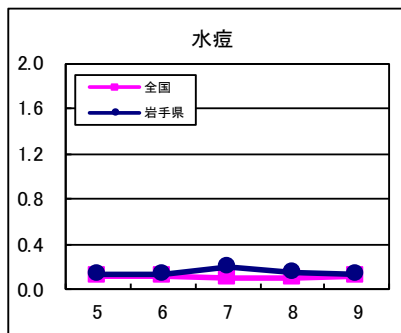
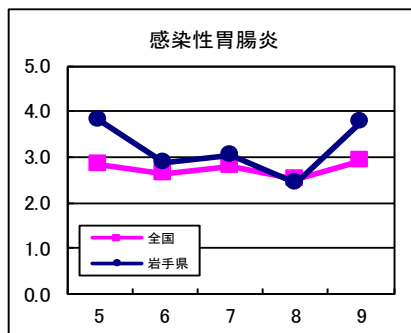
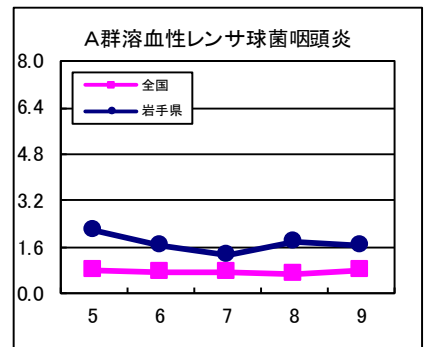
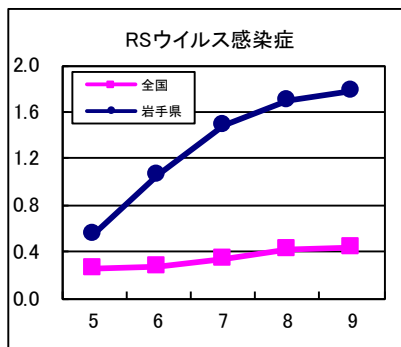
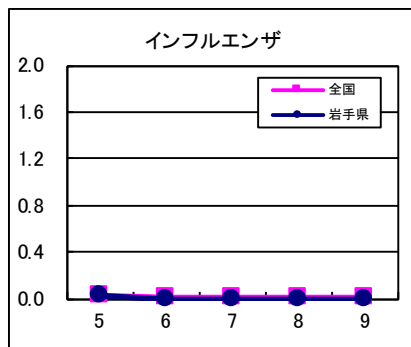
- 1 類感染症・患者発生の報告はありませんでした。
- 2 類感染症・結核の報告が2例ありました。
- 3 類感染症・患者発生の報告はありませんでした。
- 4 類感染症・E型肝炎の報告が盛岡市から1例ありました。患者は60歳代の男性です。
- 5 類感染症 (全数把握対象疾患)
 - ・カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症の報告が釜石地区から1例ありました。患者は70歳代の男性です。
 - ・劇症型溶血性レンサ球菌感染症の報告が県央地区から1例ありました。患者は80歳代の男性です。
 - ・百日咳の報告が盛岡市から1例ありました。患者は40歳代の女性です。
- 5 類感染症 (定点把握対象疾患)
 - ・RSウイルス感染症は、RSウイルス感染症は、県央、中部、および奥州地区で増加しました。特に県央地区では6週にわたり増加が続いています。この時期には珍しく、大きな患者数の増加がみられています。大半は風邪様症状で軽症ですが、初感染の乳幼児や高齢者は、肺炎や細気管支炎により入院することもあります。感染経路は飛沫及び接触感染で、基本的な予防対策のほか、患者は乳幼児に多いので、おもちゃの消毒も効果的です。
 - ・感染性胃腸炎は、前週より増加し、盛岡市で定点あたり患者数10人を超えました。1月以降、ノロウイルスによる保育所での集団発生は、13例中8例が盛岡市です。患者の吐物や便には大量のウイルスが含まれているので、処理の際には、使い捨て手袋、マスクやガウンで感染防御のうえ、塩素系薬剤を用いて汚染を広げないことが重要です。
 - ・インフルエンザは、今シーズンの定点医療機関からの報告はほとんどなく、流行の兆しはみられていません。
- 新型インフルエンザ等感染症
 - ・新型コロナウイルス感染症は、3月1日から8日までの1週間に1例の報告がありました。

岩手県新型コロナウイルス感染症関連情報

<https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyou/iryuu/covid19/index.html>

最近の注目疾患 (定点あたり患者数の過去5週の動き)

(疾患によって目盛りのスケールが異なることに注意)



定点把握対象疾患 (過去5週の動き)

報告週対応表 <http://www.nih.go.jp/niid/ja/calendar.html>

※2018年1月1日より百日咳が5類感染症 (定点把握疾患) から5類感染症 (全数把握疾患) へ変更されました。
 ※2013年第42週より感染性胃腸炎 (ロタウイルス) が定点把握対象疾患となりました。

(定点あたり患者数)

疾病名	地域	週					流行傾向	
		5	6	7	8	9		
インフルエンザ	岩手県	0.02	0.00	0.00	0.00	0.00	→	
	全国	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01		
RSウイルス感染症	岩手県	0.55	1.05	1.48	1.70	1.78	→	☆
	全国	0.25	0.27	0.33	0.41	0.44		
咽頭結膜熱	岩手県	0.10	0.13	0.15	0.10	0.10	→	☆
	全国	0.24	0.20	0.20	0.16	0.17		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	2.18	1.68	1.35	1.75	1.65	→	☆
	全国	0.79	0.73	0.73	0.67	0.77		
感染性胃腸炎	岩手県	3.83	2.88	3.05	2.43	3.78	↗	☆
	全国	2.83	2.63	2.79	2.54	2.92		
水痘	岩手県	0.13	0.13	0.20	0.15	0.13	→	☆
	全国	0.12	0.12	0.11	0.10	0.12		
手足口病	岩手県	0.00	0.00	0.03	0.00	0.00	→	
	全国	0.04	0.03	0.03	0.03	0.02		
伝染性紅斑	岩手県	0.03	0.00	0.00	0.03	0.03	→	
	全国	0.02	0.01	0.02	0.01	0.02		
突発性発疹	岩手県	0.30	0.48	0.43	0.43	0.68	→	☆
	全国	0.37	0.35	0.35	0.34	0.35		
ヘルパンギーナ	岩手県	0.00	0.00	0.00	0.00	0.05	→	
	全国	0.03	0.03	0.02	0.02	0.03		
流行性耳下腺炎	岩手県	0.00	0.03	0.08	0.05	0.03	→	
	全国	0.04	0.04	0.03	0.02	0.04		
急性出血性結膜炎	岩手県	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	→	
	全国	0.01	0.01	0.00	0.00	0.00		
流行性角結膜炎	岩手県	0.00	0.29	0.21	0.36	0.43	→	☆
	全国	0.16	0.14	0.19	0.16	0.15		
細菌性髄膜炎	岩手県	0.00	0.05	0.00	0.00	0.00	→	
	全国	0.02	0.01	0.01	0.02	0.01		
無菌性髄膜炎	岩手県	0.05	0.05	0.00	0.00	0.00	→	
	全国	0.03	0.02	0.02	0.02	0.02		
マイコプラズマ肺炎	岩手県	0.05	0.00	0.11	0.00	0.00	→	
	全国	0.04	0.02	0.03	0.03	0.03		
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	岩手県	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	→	
	全国	-	-	-	-	-		
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	岩手県	0.00	0.00	0.05	0.00	0.00	→	
	全国	-	-	0.01	0.01	0.01		
インフルエンザ (入院患者) ※報告数であることに注意	岩手県	0	0	0	0	0		
	全国	4	8	8	6	3		

【流行傾向の見方】

- 無印 : ほとんど患者が発生していません
- ☆ : 患者が発生しています
- ☆☆ : 警報値を超えた地区が1～2地区あります
- ☆☆☆ : 多くの地区で警報値を超えています

全数把握対象疾患 (過去5週の動き)

※ジカウイルス感染症が2016年2月15日から四類感染症に追加されました。

(患者発生数)

分類	疾病名	(週)					累計	全国	
		5	6	7	8	9		9	累計
一類 感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	痘そう	0	0	0	0	0	0	0	0
	南米出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0
二類	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	結核 () 内は潜在性結核感染症患者再掲	8 (3)	3 (2)	9 (6)	9 (7)	2 (0)	38 (20)	238	2456
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0
	重症呼吸器症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	中東呼吸器症候群 (MERS)	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ (H5N1)	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ (H7N9)	0	0	0	0	0	0	0	0
三類	コレラ	0	0	0	0	0	0	0	0
	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	0	0	2
	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	0	1	0	1	8	134
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	0	0
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	0	0
四類 感染症	E型肝炎	0	0	0	0	1	1	10	110
	ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)	0	0	0	0	0	0	0	0
	A型肝炎	0	0	0	1	0	1	0	15
	エキノコックス症	0	0	0	0	0	0	0	2
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	オウム病	0	0	0	0	0	0	0	1
	オムスク出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	2
	キャサナル森林病	0	0	0	0	0	0	0	0
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	0
	サル痘	0	0	0	0	0	0	0	0
	ジカウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)	0	0	0	0	0	0	2	7
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	西部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ダニ媒介脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	チクングニア熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	つつが虫病	0	0	0	0	0	0	0	57
	デング熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	東部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ (H5N1、H7N9を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0
	ニパウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	1	3
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0
	鼻疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	0
	ベネゼエラウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ヘンドラウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0
ボツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	0	
マラリア	0	0	0	0	0	0	0	3	
野兔病	0	0	0	0	0	0	0	0	
ライム病	0	0	0	0	0	0	0	4	
リッサウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	
リフトバレー熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
類鼻疽	0	0	0	0	0	0	0	0	
レジオネラ症	0	1	0	0	0	3	22	209	
レプトスピラ症	0	0	0	0	0	0	0	1	
ロッキー山紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	0	

全数把握対象疾患 (続き) (過去5週の動き)

(患者発生数)

分類	疾病名	岩手県					累計	全国	
		(週) 5	6	7	8	9		9	累計
五類感染症	アメーバ赤痢	0	0	0	0	0	0	9	106
	ウイルス性肝炎 (A型肝炎及びE型肝炎を除く)	0	0	0	0	0	0	3	23
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	0	0	0	1	1	3	21	271
	急性弛緩性麻痺	0	0	0	0	0	0	0	3
	急性脳炎 (ウエストナイル脳炎及び日本脳炎を除く)	0	0	0	0	0	0	5	60
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	0	1
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	0	0	0	23
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	1	0	1	1	4	10	130
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	0	0	0	4	141
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	1	8
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	0	0	0	0	0	0	3	44
	侵襲性髄膜炎菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	侵襲性肺炎球菌感染症	0	0	0	2	0	3	16	192
	水痘 (入院例)	1	0	0	0	0	1	7	43
	先天性風しん症候群	0	0	0	0	0	0	0	1
	梅毒	0	0	0	0	0	1	92	946
	播種性クリプトコックス症	0	0	0	0	0	0	2	23
	破傷風	0	0	0	0	0	0	0	11
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	2	14
百日咳	0	1	0	0	1	2	14	113	
風しん	0	0	0	0	0	0	0	4	
麻しん	0	0	0	0	0	0	0	0	
薬剤耐性アシネトバクター感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	
※ 新型コロナウイルス感染症	18	10	29	1	1	161	7921	200314	

※新型インフルエンザ等感染症として新型コロナウイルス感染症 (令和3年2月13日～)

今注目の感染症

RSウイルス感染症

RSウイルス感染症は、RSウイルス (Respiratory Syncytial Virus) を原因とする呼吸器疾患です。2歳までには、ほぼ100%の乳幼児がRSウイルスに少なくとも1度は感染するとされています。症状は、軽い風邪様症状から重い肺炎まで様々ですが、生後数週間から数か月間の乳幼児が初めてRSウイルスに感染した場合や高齢者は重症化しやすく、細気管支炎や肺炎など重篤な症状を引き起こす場合があります。

感染経路は、咳やくしゃみなどの飛沫感染、ウイルスが付着した手指などを介した接触感染です。手洗いや咳エチケットをはじめとした基本的な予防対策が重要です。

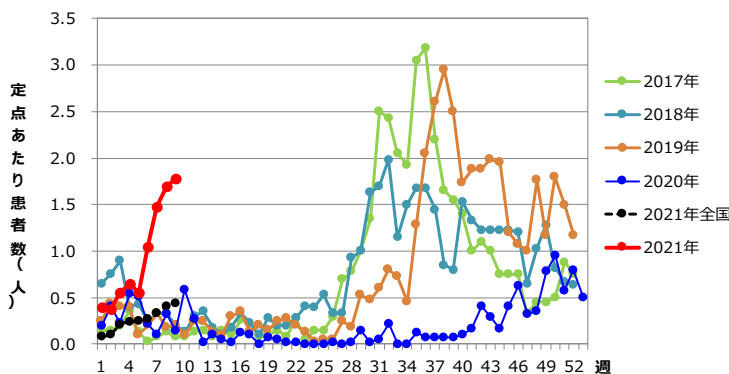
【参考】

- ・RSウイルス感染症Q&A (厚生労働省)

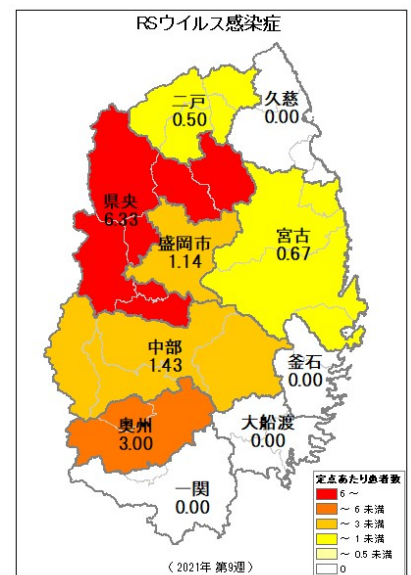
https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/rs_qa.html

- ・RSウイルス感染症とは (国立感染症研究所)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/317-rs-intro.html>



岩手県におけるRSウイルス感染症週別患者報告数 (2017年～2021年9週)



第9週の保健所管内別の状況

※国土交通省国土政策局「H29年1月1日時点国土数値情報 (行政区域データ)」をもとに岩手県が編集・加工した。
※この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の 数値地図 (国土基本情報) 電子国土基本図 (地図情報) を使用した。(承認番号 平29情使、第675号)

今注目の感染症

新型コロナウイルス感染症

新型コロナウイルス感染症は、コロナウイルス科ベータコロナウイルス属の新型コロナウイルスによる急性呼吸器症候群です。令和3年2月13日に指定感染症から新型インフルエンザ等感染症になりました。

「中華人民共和国（以下、中国）湖北省武漢市保健衛生委員会によると、2019年12月以降、同市で原因不明の肺炎患者が発生しており、2020年1月7日には中国当局が新種のコロナウイルスを検出した。」と世界保健機構（WHO）が発表し、以降、世界各地で広まっています。

国内の発生状況は図1（厚生労働省HPより）のとおりです。岩手県では、県内初の報告が2020年7月29日に2例あり、2020年は394例の報告がありました。2021年は第9週までに161例が報告されています。予防には、咳エチケットや手洗いなど普段からの感染症予防対策に努めていただくとともに、「3つの密」（換気の悪い密閉空間、人が密集している、近距離での会話や発声が行われる）を避けるようにしましょう。また、環境保健研究センターで行っている、新型コロナウイルスのPCR検査件数と陽性件数の推移と岩手県の新型コロナウイルス陽性者の年齢層別は図2および図3のとおりです。

<<<岩手県の電話相談窓口>>>

○受診・相談センター（コールセンター）

受付時間 24時間 全日（土日・祝日含む）
TEL:019-651-3175 FAX:019-626-0837

- ①発熱等の症状が生じた場合は、まず「かかりつけ医」に電話でご相談ください。
- ②相談先に迷う場合や「かかりつけ医」がない場合は、「受診・相談センター」に。
- ③①または②での紹介・案内に従い、「診療・検査医療機関」を受診してください。

詳しくは、岩手県の新型コロナウイルス感染症のホームページを御覧ください。

<https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyoku/iryoku/covid19/index.html>

また、新型コロナウイルス感染症の最新情報については、厚生労働省及び国立感染症研究所のホームページで随時更新されています。ご確認をお願いいたします。

◆参考

新型コロナウイルス感染症について－厚生労働省－

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

新型コロナウイルス（2019-nCoV）関連情報について－国立感染症研究所－

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/ka/coronavirus/2019-ncov/9324-2019-ncov.html>

図1 全国の新型コロナウイルス陽性者数（～3/9）

（累計 437,181 人）

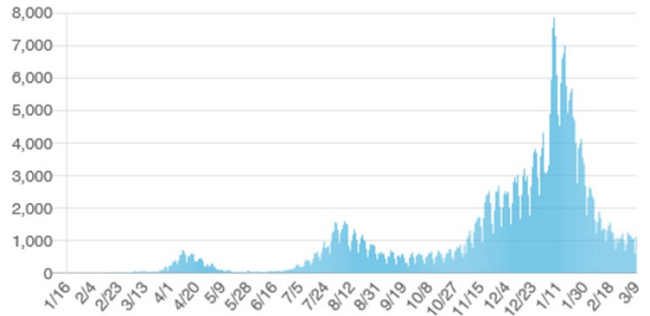


図2 週別新型コロナウイルス検査件数(人) 2020年第7週～2021年第9週

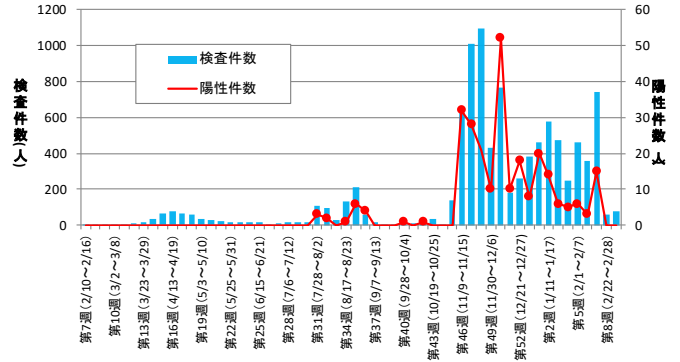
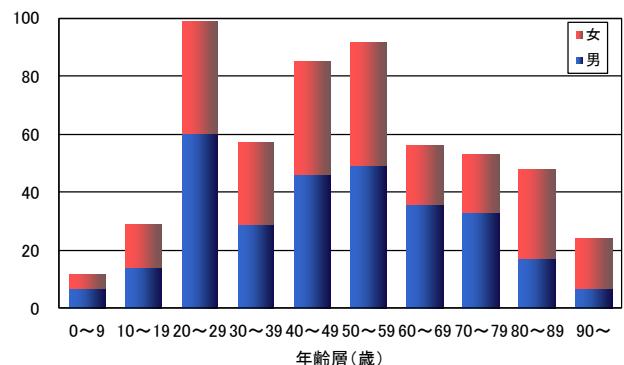


図3 岩手県における新型コロナウイルス感染症の報告数 性別、年齢層別 2020～2021年 第9週現在、N=555



インフルエンザ

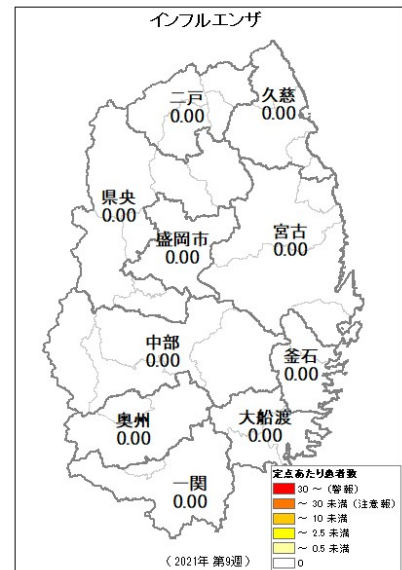
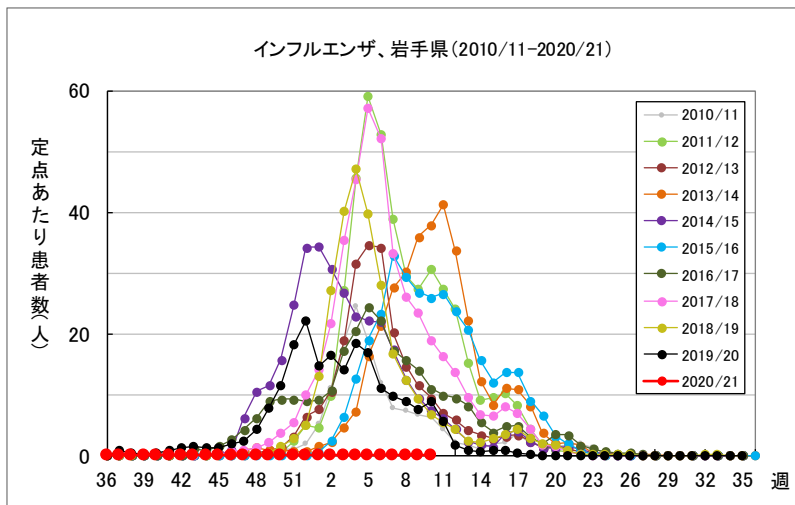
インフルエンザは、インフルエンザウイルスを病原体とする急性の呼吸器感染症で、毎年世界中で流行がみられます。潜伏期間は1日～3日程で、38℃以上の発熱、頭痛、筋肉痛、関節痛などの症状が突然現れ、鼻水や咳などの呼吸器症状が続きます。

岩手県では、例年、11月下旬から12月上旬頃に発生が始まり、1月から3月頃に患者数が増加しますが、今シーズン、流行の兆しは見られていません。また、全国約500の病原体定点からの報告による感染症発生動向調査（NESID）病原体サーベイランスにおける、インフルエンザウイルス分離・検出速報によると、2020/21シーズンのインフルエンザウイルス分離・検出報告は、現在4件報告されています。それぞれ、長崎県でA(H1N1)pdm09亜型が2件、山形県でA(H3N3)亜型が2件検出されました。

主な感染経路は咳やくしゃみなどによる飛沫感染と、飛沫の付着物に触れた手指などを介した接触感染です。予防には、咳エチケットによる飛沫感染対策と、手洗いによる接触感染対策の他、ワクチン接種が効果的です。ワクチンによる予防効果が現れるまでには2週間程度かかるため、早めの接種が勧められます。接種を希望される方は事前に医療機関にお問い合わせください。

【参考】

- ・インフルエンザとは（国立感染症研究所）
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/219-about-flu.html>
- ・インフルエンザ ～総合ページ～（厚生労働省）
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou/infulenza/index.html
- ・インフルエンザ ～疫学情報～（国立感染症研究所）
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/a/flu.html>



シーズン	流行入り 定数あたり患者数1.0人	注意報発令 定数あたり患者数10.0人	警報発令 定数あたり患者数30.0人	ピーク	定数あたり患者数
2011/2012	51	3	5	5	58.98
2012/2013	50	2	4	5	34.58
2013/2014	1	5	8	11	41.28
2014/2015	47	48	52	1	34.3
2015/2016	1	3	6	6	32.88
2016/2017	45	2	5	5	24.45
2017/2018	48	1	3	5	56.98
2018/2019	50	1	3	4	47.11
2019/2020	42	50	52	52	22.06
2020/2021					

※国土交通省国土政策局「H29年1月1日時点国土数値情報（行政区域データ）」をもとに岩手県が編集・加工した。
 ※この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)を使用した。(承認番号 平29情使、第675号)

今注目の感染症 (つづき)

風しん

風しんは、風しんウイルスによって引き起こされる、発熱、発疹、リンパ節の腫脹を特徴とする急性の発疹性感染症です。風しんウイルスは、患者の飛沫（唾液のしぶき）などによりヒトからヒトへ感染します。潜伏期間は2週間程度で、発疹が出る前後1週間位がヒトへの感染力があるとされています。風しんに免疫を持たない妊婦の方が妊娠第20週頃までに感染すると、「先天性風しん症候群」という目や心臓、耳などに障害を持つ子供が生まれる可能性があり、妊婦への感染を防止することが重要です。

全国では、2018年第30週以降、関東地方で報告数が大幅に増加し、累積報告数は、2018年で2,946人、2019年で2,306人と全国流行があった2013年（14,348人）に次いで多い報告数となりました。2020年の累積報告数は100人で、男性が女性の2.4倍、第5期定期接種対象の41～58歳男性が男性患者の51%を占めていました。この近年の流行は、風しんの抗体を保有していない40～50代の男性で感染が拡大しているとみられます。2021年は、第8週までに5人が報告されています。また、第2週に先天性風しん症候群の報告が1例ありました。

岩手県では、全数把握疾患となった2008年以降、2021年第9週までに23人が報告されています。全国流行があった2013年には9人の報告がありました。

予防にはワクチン接種が最も効果的です。2回の定期予防接種（1歳児と小学校入学前1年間）を徹底しましょう。また、2021年度末までの期間に限り、これまで風しんの定期接種を受ける機会がなかった昭和37年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性（現在41～58歳）が定期予防接種の対象者として追加されました（図3）。また、妊婦への感染を防止するため、予防接種歴や抗体陽性が確認できない「妊婦の夫、子どもや同居家族」、「妊娠希望者や妊娠の可能性が高い女性」の方は、任意で予防接種を受けることが推奨されます。

【参考】・風疹とは（国立感染症研究所）

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/430-rubella-intro.html>

・風疹に関する疫学情報：2021年3月3日現在（国立感染症研究所）

<https://www.niid.go.jp/niid/images/epi/rubella/2021/rubella210303.pdf>

・2019年1月～2020年6月に出生した先天性風疹症候群5例（国立感染症研究所）

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/typhi-m/iasr-reference/2528-related-articles/related-articles-487/9870-487r04.html>

・風しんの追加的対策について（厚生労働省）

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou/rubella/index_00001.html

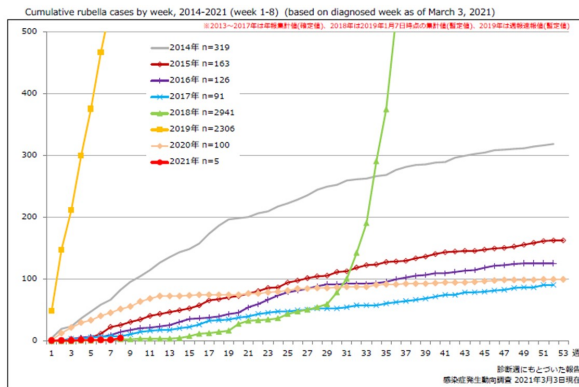


図1 全国における風しん累積報告数の推移 (2014～2021年第8週) (国立感染症研究所HPより)

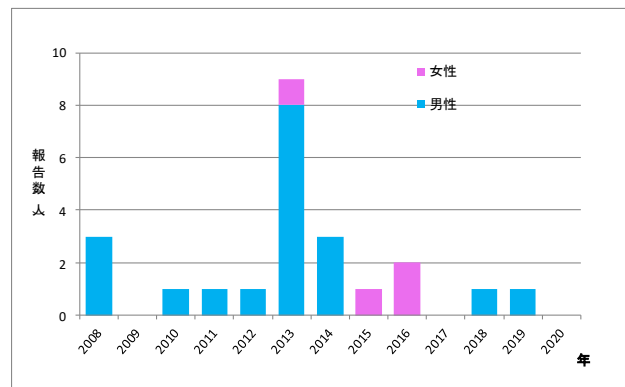


図2 岩手県における年別・性別風しん報告数 (2008～2021年第9週)

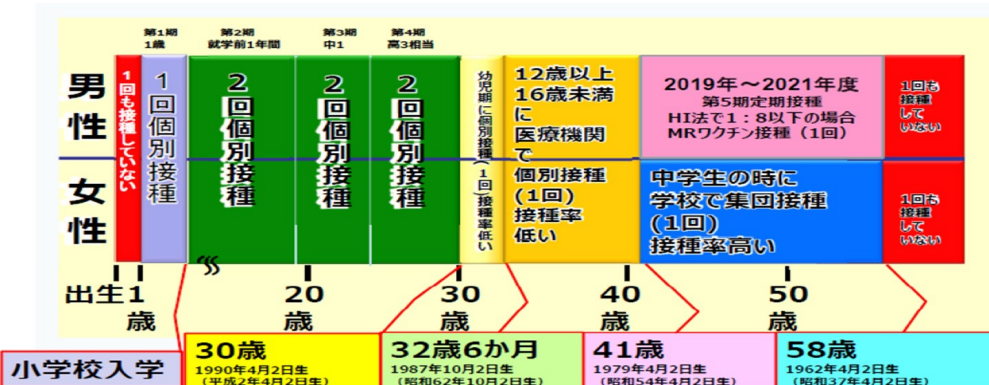


図3 風しん含有ワクチンの定期予防接種制度と年齢の関係 (令和2(2020)年4月1日時点) (国立感染症研究所HPより)

集団感染情報

○感染性胃腸炎の集団発生について

- ・奥州市内の保育所（園児113名、職員35名）
3月1日（月）から3月8日（日）にかけて、園児13名に症状（嘔吐、下痢等）
有症者2名からノロウイルスを検出（医療機関実施）
- ・盛岡市内の保育園（園児72名、職員24名）
2月19日（金）から3月10日（水）にかけて、園児32名、職員6名に症状（嘔吐、下痢等）
有症者7名からノロウイルスを検出

病原体検出情報

- ・この週には病原体検出情報はありません。



医療機関からの情報

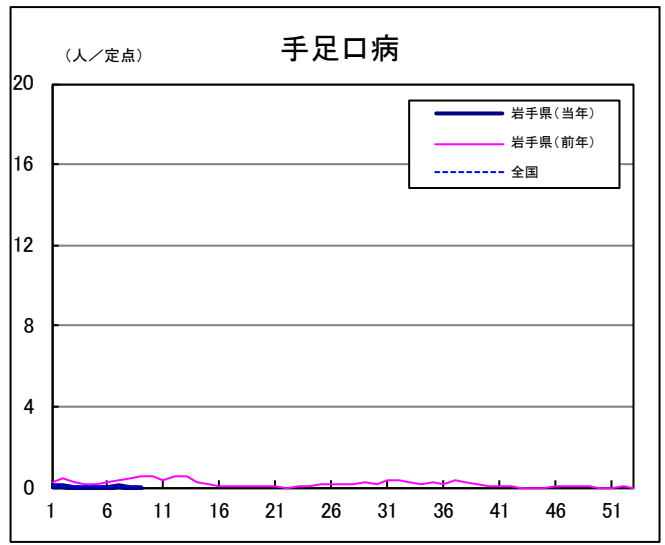
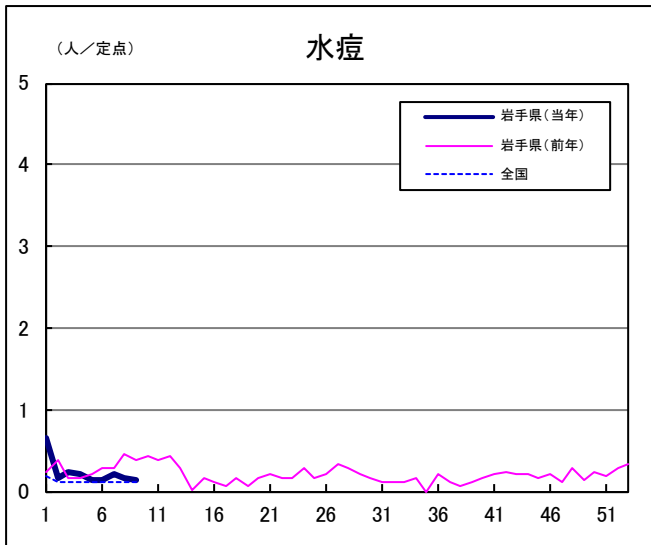
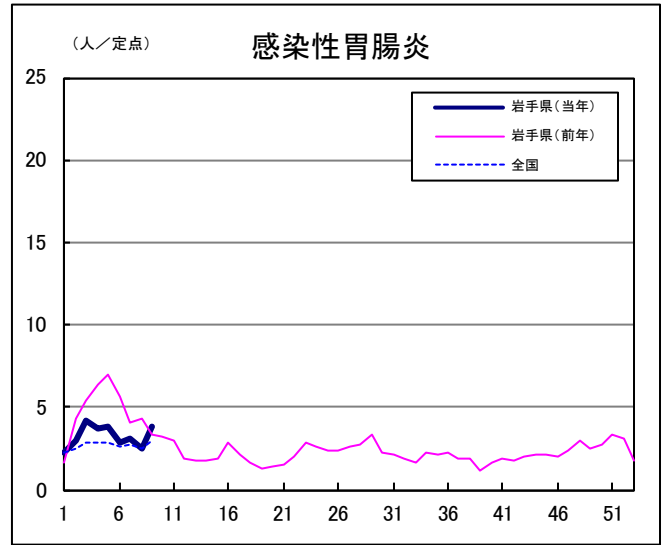
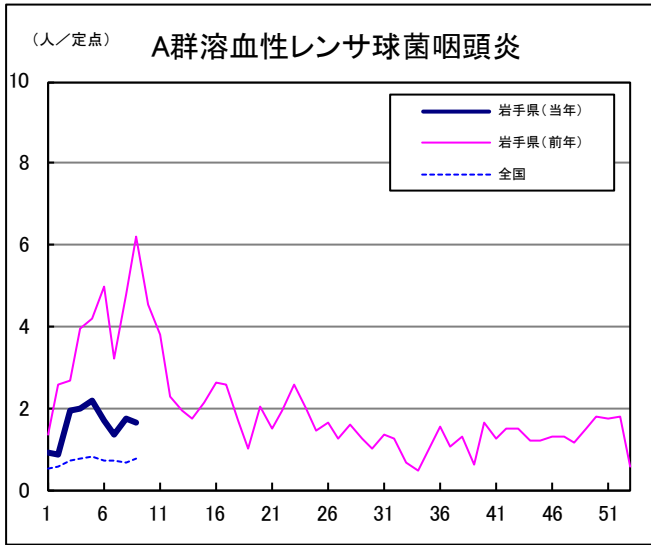
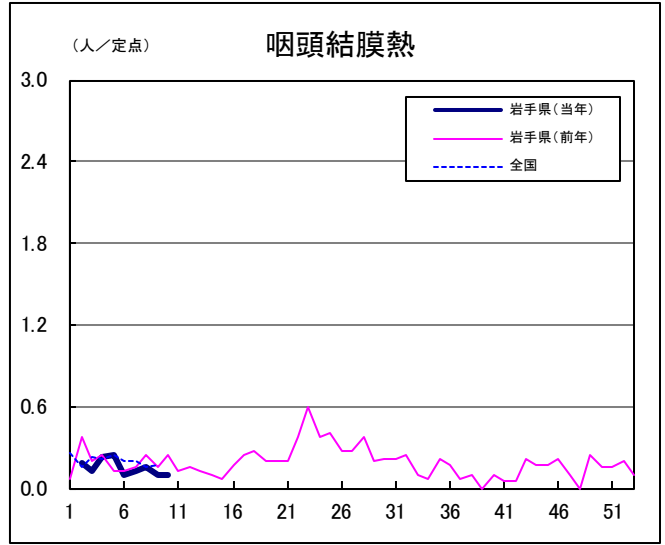
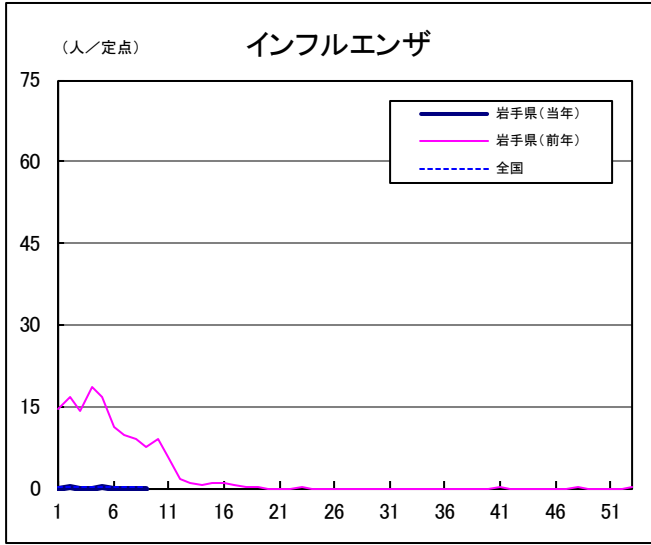
- ・この週には医療機関からの情報はありません。

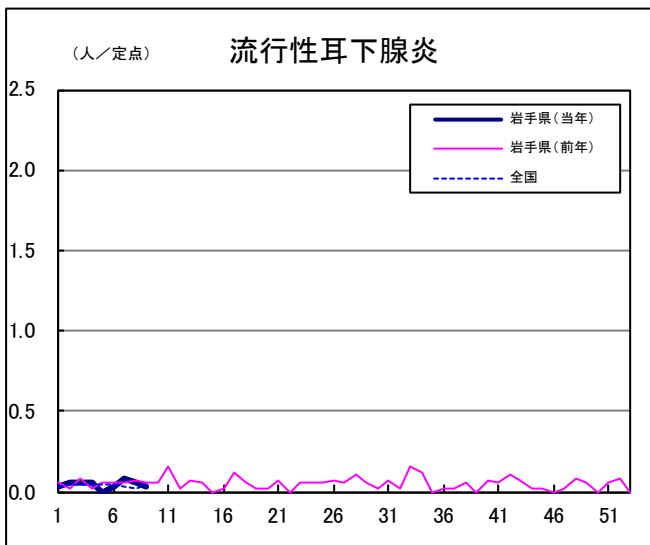
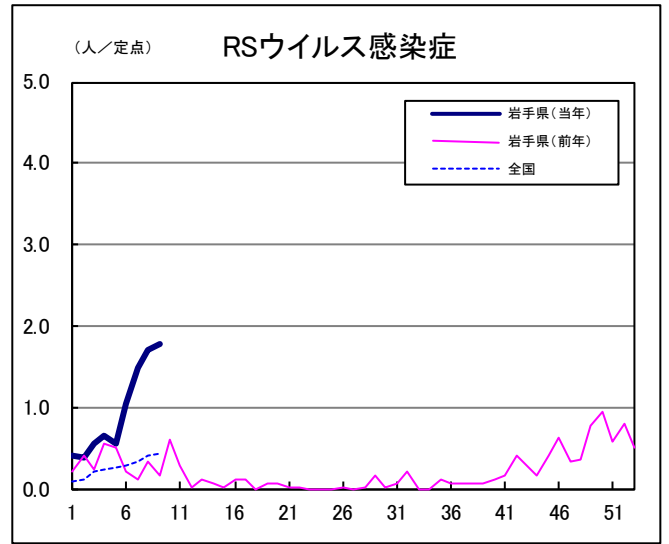
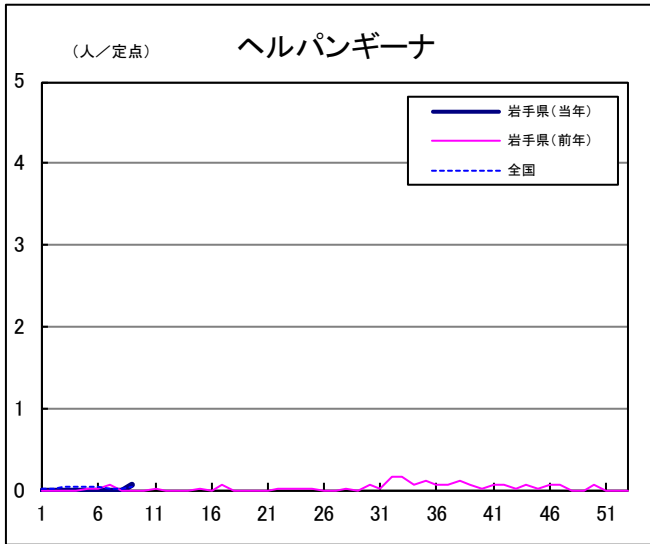
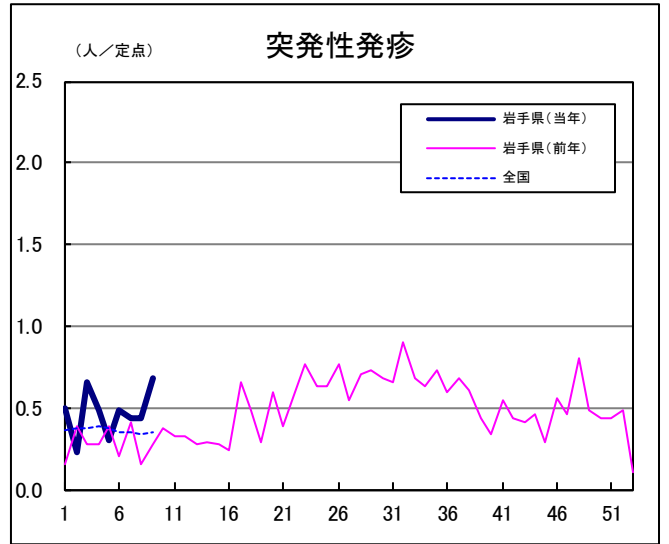
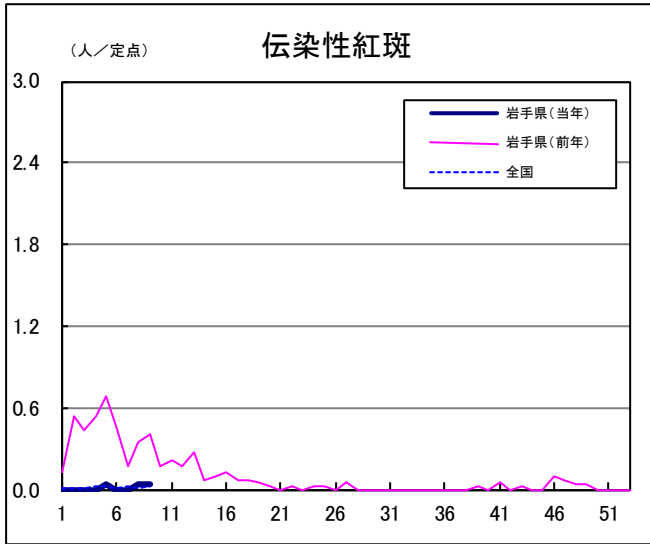
Q & A

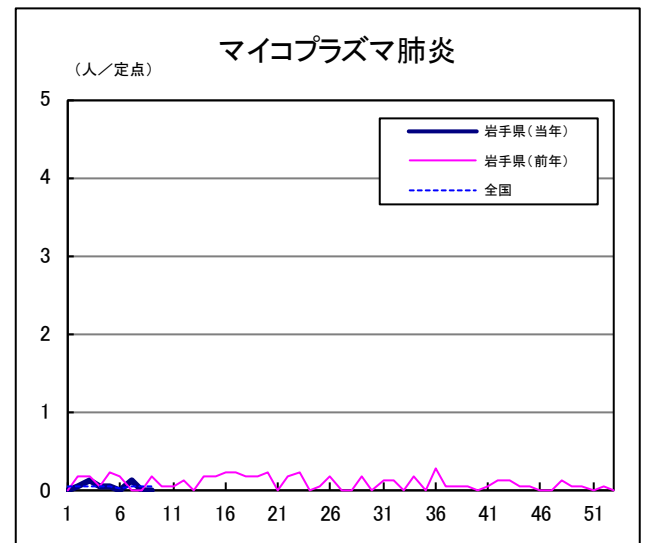
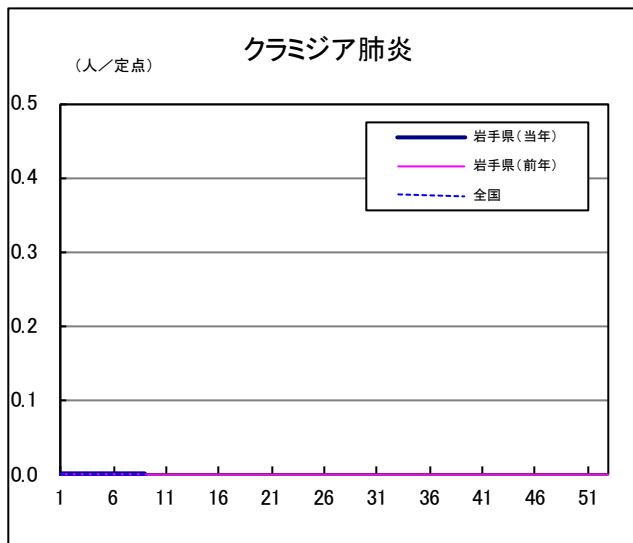
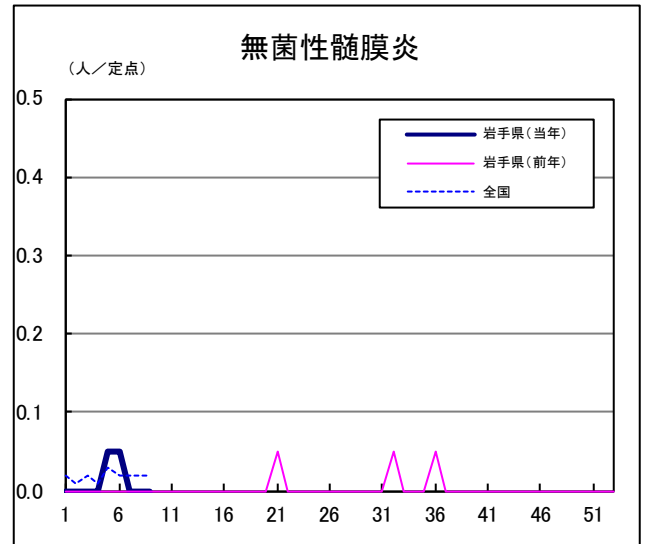
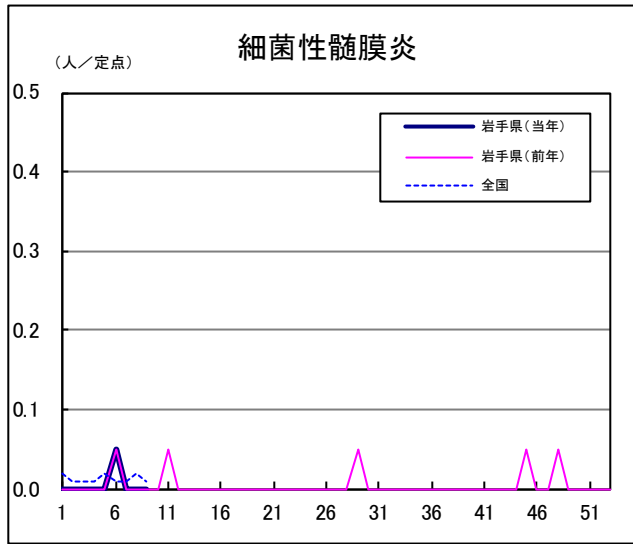
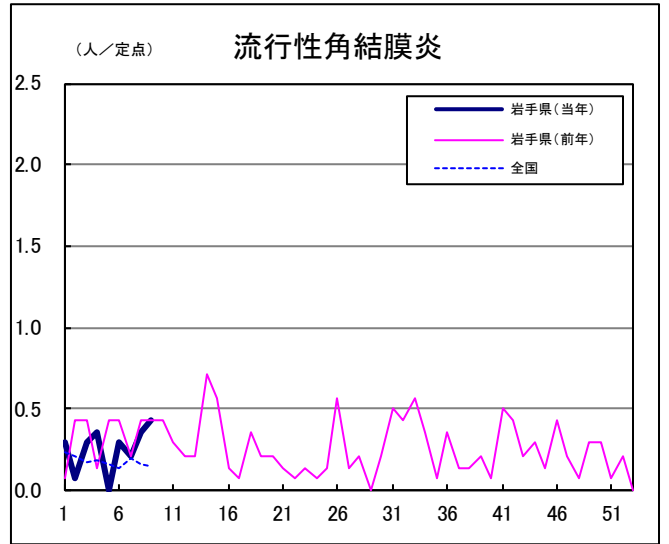
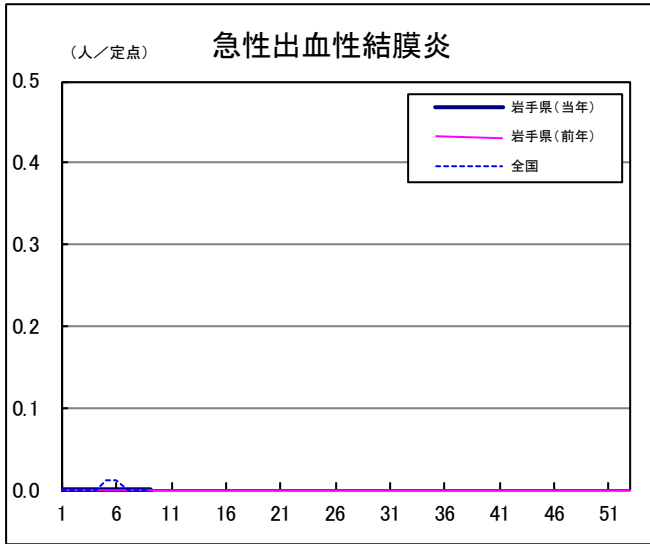
読者の皆様からのご質問にはこの欄でお答えします。

医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記の宛先までお寄せください。
岩手県感染症情報センター（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）
〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡1-11-16
TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667
E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

疾病別グラフ (定点あたり患者数の推移)







定点医療機関の数

地区	定点種別	インフル エンザ	小児科 定点	眼科定点	基幹定点
岩手県		65	41	14	19
盛岡市		11	7	3	4
県央		9	6	2	1
中部		12	7	2	4
奥州		7	4	1	2
一関		7	4	1	2
大船渡		5	4	1	1
釜石		3	2	1	1
宮古		5	3	1	1
久慈		3	2	1	1
二戸		3	2	1	2



無料です!!

岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする

「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」を配信しています。

配信の登録は以下のURLからお願いします。

<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

岩手県感染症週報 令和3年第9週 令和3年3月12日発行

監修：岩手県感染症発生動向調査委員会

発行：岩手県環境保健研究センター
岩手県保健福祉部医療政策室

事務局：岩手県感染症情報センター
(岩手県環境保健研究センター保健科学部内)

〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡1-11-16

TEL:019-656-5669 (直通) FAX:019-656-5667

E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

URL: <http://www2.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/>

<岩手県感染症情報センター>

<https://www.pref.iwate.jp/soshiki/hofuku/1016013.html>

<岩手県保健福祉部医療政策室>